

令和4年度図書館そだて会議@中央図書館 議事録

日時：令和5年(2023年)1月21日

午後4時45分～5時30分

一般参加者：8人、図書館：6人

※ 今回は、話題提供として筑波大学メディア系教授の吉田右子先生に「北欧の図書館事情」と題してオンライン講演をしていただいた。(一般参加者：13人、図書館6人)

1. 開会(西川館長)

2. 参加者の自己紹介と講演「北欧の図書館事情」を聞いた感想など

- ・今の子どもたちがやっている最新のゲームを図書館で体験してみたい
- ・対話の大切さ
- ・大学の図書館も最近はにぎやかだと聞いたが、そういうところをもっと増えるといい
- ・図書館は何でもできるのだなということを知った。ここ最近中央図書館もがんばっている。子どもたちがゲームをしているのも職員が見守っている。禁止事項が減って明るくなったと思う。
- ・宿題をみってくれるボランティアさんがいるといい。
- ・北欧の図書館でも60年かかったということなので、日本の図書館もおしゃべりができて気軽に入れるところになるといい。何でも気軽に聞いてもらえるような司書になりたい。
- ・中央図書館をよく使っている。今年5周年になるのかと思っている。北欧にはあんな図書館があるのかと思った。
- ・檜邑には歩いて行ける場所に図書館がない。高齢になって車に乗れなくなったら中央図書館の近くに住みたい。真庭市内には大学がないが、大学がなくても学べる環境、コミュニティを作りたい。
- ・図書館でゲームをしている子を見ると、本の方がおもしろいのと思う。最近どんな本を読みましたか？ということがあいさつ代わりに聞けるようだといい。
- ・中央図書館のキッズスペースに木のおもちゃがあるのがとてもいいと思う。
- ・北欧の図書館の設備投資に興味を持った。行政からお金が出ているのかなとか。
- ・北欧では居場所としての図書館の幅が広いのだなと思った。目的が多いと人が集まりやすい。読書以外の目的がたくさんある。中央図書館も最近いろいろやっていますね。

※ 講演会のアンケート「本日印象に残ったこと、感想お教えてください。図書館がこんな風になったらいいなと思うことなどもぜひ」より

- ・ おもしろい本を通じて共感し会える人と出会える場となれば、そこは人生最良・最高のパートナー

- ・学習が対話を通してなされるという考えが図書館のあり方のベースにあるということが興味深かった。
カフェ併設は難しいかもしれませんが、マルシェなどに出店されている方やお店にチャレンジしてみたい方がスポットで出店 cafe ができるスペースが図書館にあったら嬉しいです。あとは、IT サポートサービスでスマホ講座などがあればいいと思います。小学生がプログラミングを体験できたり。
- ・図書館という概念が私の図書館とあまりにも違いすぎて・・・。
ルウエーの会話と議論の場と図書館法で定められている事に感服。
- ・23 歳男。とても楽しく講演を聞かせてもらいました！改めて今回の講演を聞いて思ったのは「文化」「芸術」を大切にする文化が根付いているのかなということです。真庭に移住してきて図書館に「ラノベ」が置かれていて驚きましたが、北欧だと「ゲーム」「ボードゲーム」「3D プリンター」さらには「IT 教育」まで図書館でできるというのは驚きでした。日本では「ラノベ禁止」とか「図書館でゲーム禁止」とか、文化や芸術を制限する傾向が強いですが、北欧はおおらかなと感じました。
- ・ゲームが置いてある館がほとんど聞いて驚きました。ゲームと本が同じメディア(病棟な扱い)で、ゲームを持っていない子と持っている子の差を埋めるのが図書館の役割だという事も！日本でも当たり前のようにおしゃべりできる図書館になると良いなと思います。図書館は本が基本 & 本が全てという固定概念をとっ払わないといけないなと思いました。
- ・学習・宿題が対話を通してなされているという話が面白かったです。図書館の経営・運営の費用などお尋ねしたかったです。
- ・とりあえずカフェスペースをぜひ。蒜山図書館にもぜひ。
- ・とても楽しそうなしょかんだなと思いました。北ヨーロッパの図書館に行ってみようかなと思いました。いろんなことがあって、宿題もできて分からない物もおしえてもらえるし、すごいっぱな図書館だし、行ってみようかと思いました。
私は、いいと思います。今までも、いろんな思い出が出来ていまのままがいいと思います。
- ・禁止事項「～してはいけない」ではなく「～できる」を利用者に理解してもらう
- ・大学の代わり。ゼミ(学びのコミュニティ)的なもの
- ・コーヒーや飲みものを楽しみながら読書できるといいと思いました。弁当も食べれる、本当にうれしい

3. 真庭市立図書館の取組について(中央館を中心に)説明 (上杉)

4. 意見交換 & アイデア出し

- ・常設のカフェがほしい。美味しいコーヒー(飲みもの)、パンなどを販売していて、人がいてことばが交わせるような、人と人とのふれ合いの場。
- ・先日の市民大学講師の著作を読む会や、講演会を聞いた後に参加者同士で意見を

交換したり対話できる会があるといい。

- ・引っ越してきてしばらくインターネットが使えなかったので、図書館で free wi-fi が使えてとても助かった。
- ・真庭には大学はないが、通信制やオンラインで学んでいる人(社会人、大学生、高校生)はたくさんいる。図書館がキャンパスの代わりになったらいいなと思う。
社会人の場合、昼間は仕事なので夜の時間帯に図書館でなにかできると嬉しい。「学生」同士で交流、文化祭や卒業制作発表会など。
- ・中央図書館サポーターズとして開館当初から活動してきたが、最近はだんだん活動する人が減ってしまってさみしい。原点に戻るといいのか。リーダーがいるといいのか。
- ・サポーターズという集まりがあることを知らなかった。情報をオープンにすると活動したい人が集まってくるのではないか。SNS で発信するなど。

図書館から

- ・サポーターズのあり方についてはまた一緒に考えたい。中央図書館にリボンをかけた時のように、こんなことをしたい、誰か手伝って！という具体的なプロジェクトがあると人が集まりやすいかもしれない。
- ・こんなことをしたい、と思ったらいつでも図書館に声をかけてほしい。一緒に出来る方法を考えましょう。
- ・図書館のイベント情報も発信方法の改善を検討中。

5. 閉会

17 時 30 分から 1 階と 2 階で「夜のとしよかん」を開催するので、お立ち寄りください。

以上